

財務諸表論【ミニテスト】

基礎マスター
速修コース

問題－テキストNo.1 第3回	制限時間	10分
-----------------	------	-----

C株式会社の当期（令和2年4月1日から令和3年3月31日）の次に示す資料により、会社計算規則に準拠した損益計算書を作成しなさい。

〔資料〕決算整理後残高試算表（一部）

(単位：千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
⋮	⋮	⋮	⋮
期首商品たな卸高	96,000	期末商品たな卸高	196,000
当期商品仕入高	730,000	売上高	1,302,500
販売費及び一般管理費	421,500	受取利息	1,800
売上値引	12,500	投資不動産賃貸料	3,300
売上割引	8,200	固定資産売却益	1,500
雑損失	1,200	⋮	⋮
固定資産災害損失	7,500		
法人税、住民税及び事業税	96,600		
⋮	⋮		

財務諸表論【ミニテスト】

基礎マスター
速修コース

答案用紙－テキストNo.1・第3回

得点	会 員 番 号							
50								
	氏 名 (カ ナ)							

(注) 氏名はカタカナでのみ記入をお願いします

損 益 計 算 書

C株式会社

(単位：千円)

摘 要	金 額	
I		()
II 売 上 原 価		
1 期 首 商 品 た な 卸 高	()	
2 当 期 商 品 仕 入 高	()	
合 計	()	
3 期 末 商 品 た な 卸 高	()	()
		()
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		()
営 業 利 益		()
IV		
受 取 利 息	()	
投 資 不 動 産 賃 貸 料	()	()
V 営 業 外 費 用		
	()	
雑 損 失	()	()
経 常 利 益		()
VI		
固 定 資 産 売 却 益	()	()
VII		
固 定 資 産 災 害 損 失	()	()
税 引 前 当 期 純 利 益		()
		()
当 期 純 利 益		()

財務諸表論【ミニテスト】

基礎マスター
速修コース

解答ーテキストNo.1・第3回

損益計算書

C株式会社

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

(単位：千円)

摘 要	金	額
I 売上高		51,290,000
II 売上原価		
1 期首商品たな卸高	96,000	
2 当期商品仕入高	730,000	
合 計	826,000	
3 期末商品たな卸高	5196,000	630,000
売上総利益 5		660,000
III 販売費及び一般管理費		421,500
営業利益		5238,500
IV 営業外収益 5		
受取利息	1,800	
投資不動産賃貸料	3,300	5,100
V 営業外費用		
売上割引 5	8,200	
雑損失	1,200	9,400
経常利益		234,200
VI 特別利益 5		
固定資産売却益	1,500	1,500
VII 特別損失 5		
固定資産災害損失	7,500	7,500
税引前当期純利益		228,200
法人税、住民税及び事業税 5		96,600
当期純利益		5131,600

【配 点】 5×10カ所 合計 50点

解答への道

（仕訳の単位：千円）

1 損益計算書のタイトル等の記載について

損益計算書には会計期間を付す。

2 金額欄について

金額欄の使い方は以下のとおりである。

各科目の金額…左側の欄に記載

各区分の金額（合計額）…右側の欄に記載

利益の金額…右側の欄に記載

税引前当期純利益より下…原則右側の欄に記載

3 売上値引の修正

（売	上	高）	12,500	（売	上	値	引）＊	12,500
----	---	----	--------	----	---	---	-----	--------

＊ 売上値引は、売上高の控除項目として取り扱う。なお、売上割引は営業外費用に独立科目で表示することにも留意する。

【論点確認】

- 1 タイトル等の記載
- 2 P/Lの各区分及び各利益の名称
- 3 P/Lの金額の算定の仕方
- 4 売上原価の表示（内訳を示す方法）
- 5 金額欄の使い方

【学習上のアドバイス】

- 1 各区分の名称を正確に習得すること。
- 2 利益の名称（売上総利益、営業利益など）については、特に間違いが多い箇所のため注意する。
- 3 売上高から控除すべき項目、及び仕入高から控除すべき項目をしっかりと習得する。